



披露となったのは、生徒たちには状況の変化にも柔軟な対応を見せ、生徒と先生たちの一糸乱れぬ（先生方の息は乱れてましたが）演舞を披露してくれました。

2日目の模擬店については生徒数と同様にPTA役員も少ない中での人員配置や仕入れ数の確認等、過去の学校祭資料を見返しながら、

日頃からPTA活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

今後も会員の皆様と協力しながら活発に活動していきたいと考えております。

さて、今年の学校祭は7月15・16日の2日日程での開催と模擬店販売を久し振りに行うことができました。初日の目玉は何と言っても10数年ぶりに行う行灯。

ご覧になられた方もいると思いますが大変素晴らしい画とそれを支える頑丈な土台の仕上がり、胸が熱くなりました。後はそれに灯りを灯し学校からやすらぎの家まで行列しヨサコイの披露となる予定でしたが、生憎の雨の為に体育館でのヨサコイ披露となりました。



PTA会長
井添 誠 二

学校祭を終えて

PTA会報

賓

根

編集・発行 No.136

奈井江商業高校
PTA事務局

奈井江町南町2区
TEL 0125-65-2239
FAX 0125-65-2350



校長
山田 仁 樹

生徒の頼もしさに脱帽

令和5年6月6日（火）、新聞・テレビ等で令和8年度（2026年度）に本校が募集停止となるという配置案について報道がありました。非常にショックな報道だったこともあり、生徒の皆さんに動

らの準備となりましたが計画通りに、たい焼き・焼き鳥・飲み物の販売・綿あめの無料配布・更に昨年に続き私の地元雨竜町の雨竜高等学校養護学校寮業科の皆さんが作った陶器の販売もさせていただきました。当日の様子については後日写真と動画を担当の先生へ渡したところ「ありがとうございます。子どもたちも大変喜んでいました」と連絡をくれました。その最後には「来年も販売したいのでまた連絡ください」との事で、早くも来年度の学校祭模擬店がこれですべて確定です。

夜には学校の駐車場前へ行灯を移動して灯りが灯されました。前日に見た時より暗闇に輝く行灯はとても美しくその光景は筆舌に尽くし難い物でありました。

更に行灯の前で生徒と先生たちがヨサコイを披露。生徒会長のお礼の一言とほぼ同時に学校祭の最後を飾る打ち上げ花火へと繋がる最高の演出となりました。これは事前に打ち合わせしたものではありません。学校祭の成功を想うみんなの力が招いた結果だと人々感動していました。

来年も素晴らしい学校祭が開催されることを期待しPTAからの挨拶とさせていただきます。

揺が走っていることかと思いい、このことについて同日の午後授業を短縮して全校集会を開くことにしました。そこで私から生徒の皆さんに、このような報道があり今後本校がどうなるかわからないが、今大切なのは本校に在籍している君たち一人一人としての成長、学校環境の整備、進路実現など、君たちを最も大切に考え、教職員一同丸となって頑張っていきたいという趣旨のお話をしました。

そんな生徒の皆さんの頼もしさを感じたのが、このことがあった約一ヶ月後の7月15、16日に行われた学校祭。いわゆる「奈商祭」として、昨年度はまだまだコロナの影響があり、一般公開ができなかった制限がかかった中で教職員、生徒の皆さんともによく頑張ってくれましたが、今年度はほぼ100%コロナ前に戻ったスタイルでできるようになりました。しかし感染症のリスクは完全に消えたわけではなく、他校でも学校祭後に感染症が発症した事例もありましたので例年同様感染対策をしながら準備を行いました。今年度の目玉は何と言っても10数年ぶりに復活する「行灯」でした。青森のねぶた祭の行灯を参考に、生徒達が土日も返上して魂のこもった行灯を作成してくれました。完成度が非常に高く、行灯に明かりが灯ったときには何とも言えない感動に包まれました。新しい企画「おけけ屋敷」その他にもクラス発表や力オケ、模擬店、よさこいソーラン演舞と盛りだくさんで、生徒に負担がかかりすぎない見事に大きな盛り上がりを見せ、何れも何れも「行事に大きな盛り上がりを見せた。初日は雨天のため、やすらぎの家で行灯を灯しながらよさこいソーランを踊ることができなかったことは本当に悔やまれますが、2日目はとても晴れて、キッチンカーにも来ていただき、最終的に148

名の来客があったことは大変喜ばしい限りです。この日のために本校PTA役員及び保護者の皆様の綿密な準備により、模擬店を実施することができ、久しぶりにたい焼きや焼き鳥・ジュースの販売、綿あめの無料配布、そして雨竜高等学校養護学校の生徒さんが作ってくれた陶器の販売と盛りだくさんの出店をすることができました。改めてこの場を借りてPTA役員の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。

奈商祭のラストを飾るのは「花火大会」。そしてその前に行灯を灯してもう一度よさこいソーランを踊ることになりました。まずは行灯に灯りが灯り、その前で演舞し、演舞が終わった瞬間に花火がストーンと鳴り始め、まるで映画のワンシーンのようでした。最後の演舞には三本町長や相澤教育長にもお越しいただき、生徒の頑張りを認めていただけたかと思えます。今回の奈商祭でもとても印象的だったのは、本校の教職員と生徒が協力し、地域の方々、PTA役員をはじめ保護者の皆様の協力を得ながら作り上げていく一体感をひしひしと感じることができました。人数が少なくても1人ではできなかった目的を持った者同士が集まれば、不可能が可能になるということを生徒に教えてもらいました。私は保護者の皆様にも書面ではありましたが「これから本校生一人一人に寄り添った指導を軸に、質の高い授業による学びの保障、地域と協同した活動、ボランティア活動、進路実現等、生徒が住みやすい環境作りを目指し、今までも変わらないスタンスで、より進化しながら教育を進めていきます」と伝えさせていただきました。これからも皆さんから大量のパワーをもらいながら、学校経営に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

令和5年度 PTA・文化体育後援会役員

◆役員◆ (敬称略)

役職	氏名	学年
顧問	鈴木 孝一	
	稲垣 晋一	
会長	中森 緑	
	井添 誠二	2・3年
副会長	三森 久子	3年
	木村 祐子	2年
	山田 仁樹	校長
	井添 睦美	2・3年
会計監査	堀谷 伸之	1年

◆学年部◆

役職	氏名	学年
3学年部長	新川 亜由美	3年
2学年部長	豊嶋 寿	2年
1学年部長	山田 一美	1年

◆事務局◆

役職	氏名	学年
事務局長	道添 昌規	教頭
会計	佐々木 敦	事務長
書記	多田 美佳子	教務部長
局員	堀 晃子	教務部長
	前田 貴世	生徒指導部長
	小泉 安司	進路指導部長
	高橋 亜紀	第1学年班
	一ノ瀬 澄	第2学年班
	畑 仁	第3学年班

最後の奈商祭を終えて

3学年 新川 希々葉

最後の奈商祭は、焦りと不安、疲労との戦い、そして頭をフル活用しました。それほどやらなければならないことが多すぎでした。クラス発表の音源編集をし、ダンスを頭と体に叩き込み、構成をつけ、教える。そして、縦割企画の行灯作成、学校祭2日目のクレープ販売と盛りだくさんで、青春を味わうことができました。

ただ本当に、焦りと不安を感じました。まったく知識がないまま作る行灯、今までのクラス発表とは一味変えたかったHステ、私にとっては初めての模擬店、どれも絶対に手を抜きたくありませんでした。でもうまくスケジュールを組めず、行灯の方に力が入ってしまったと思います。でもその分、感動するものができて良かったです。作業は、ほとんどメンバー全員が揃うことはなく、放課後に残ったのはほぼ3年生でしたが、その時間が最高に楽しかったです。



準備期間後半は、疲れすぎて辛かったです。ピークに達したときは、テンションが壊れて、ほぼ動物園のようになってたときもあり、辛い気持ちと楽しい気持ちとがごちゃ混ぜでした。そんな中、学校祭前日に行灯が完成し、そのときの達成感はすごかったです。でも、まだ不安なことがありました。



それは当日の雨のことです。雨が降らないようにと願いましたが、残念なことに当日は雨で、行灯行列は中止となってしまいました。次の日、行灯を背によさこいを踊ることができましたが、行灯行列ができなかったことが心残りです。しかし、準備期間に感じたたくさんの感情は本物だったし、その一つ一つが消えることのない大切な思い出となりました。

クラス発表でも、私がいまにも焦りすぎて厳しい言い方になってしまったことがあります。でも、怒らずに協力して練習してくれるメンバーで本当に良かったと思います。そして、完成しないと思っていたクラス発表も、完成まで持つていくことができました。

私は、疲れても笑っていられて、一緒に頑張つて、一緒に全力が出せる、暖かいこのメンバーがいるこのクラスにいることができて、とても良かったし、とても幸せだと思いました。

奈商祭を終えて

1学年 塩谷 清美

中学校の学校祭に参加したことがなく、私にとって初めての学校祭でした。1学年は私を含めて5人。正直、あまり楽しくないだろうなと思いが、準備をしていましたが、終えた感想は、忙しくて人数が少ない中でしたが、それなりに楽しかったです。

最初はクラス発表がなかなか決まらず、これといったものも浮かばずで不安でした。結局、似顔絵クイズのみになりましたが、準備の時は忙しくもなく楽しかったです。発表後、どんな反応だろうかとだけ気になっていましたが、想像していたよりだいぶよい出来になったのではないかと思います。3人での発表になりましたが、楽し



かったです。

行灯の横断幕デザインを私が考えることになり、締め切りギリギリまで考えてすごく大変でした。学校祭が終わって、ようやくあのデザインで大丈夫だったと思えました。自分で考えたデザインを形にすることの大変さと、達成感は今後にも生かせそうです。居残って行灯の作業をしたのは思い出しになりました。完成した行灯を見たときは感動しました。

めっちゃ疲れて楽しい学校祭でした。



インターシップを終えて

2学年 田中 沙奈

将来、公務員になって役場で働いてみたいと思っていたので、インターンシップで行くことができて良かったです。

ライスターミナルに登らせていただいたり、2億円もする色彩選別機や米を保存しておくための超低温貯蔵システムを見せていただいたり、また町議会定例会を傍聴させていただきました。また、事務作業では書類の印刷や封詰め、郵便物の発送準備などを経験させていただきました。郵便物の重さによって送料金が違うので、それぞれ重さを計って分けたり計算してまとめたりと、役場の仕事の一部しか経験していませんが普段できない貴重な体験をすることができました。



「防災交通所管業務」では、Excelの式を使っていて授業で習った串刺し計算も使われていて、今のうちにExcelの使い方をマスターしておいた方が将来絶対必要になると思います。計算した。計算の代わ

りに入った資料作成の業務も、授業で習ったことのあるものであったので、商業高校で習うパソコンの知識や操作技術が必要不可欠ということがわかった。今のうちにたくさん勉強して、「高校の時にもっとちゃんとちゃんとやっておけば良かった」とならないようにしておこうと思いました。パソコンを利用する授業が苦手なので、今のうちに克服しておきたいです。

今回のインターンシップで、役場の中には色々な課・係があり、それぞれ全く違う仕事をしていることや3、4年に部署異動があること、その中で自分に合った仕事や部署を見つけるのが大事だということを知ることができました。奈井江町にある施設や役場の業務内容を一部ですが経験することができて良かったです。

役場って堅苦しくて厳しいというイメージでしたが、みなさん優しく、職員同士の仲もとてもよさそうで雰囲気がよく良かったです。進路の参考になり、とても良い経験になりました。ありがとうございました。



部活動大会結果報告



<バドミントン部>

○令和5年度 北空知地区高等学校春季バドミントン大会 兼 第78回国民体育大会バドミントン競技北 空知地区予選会 (4月15日 滝川市)

・高校女子ダブルスI部
3年 中野 亜子・半澤 楓 ペア
1回戦敗退

・高校女子シングルスI部
3年 中野 亜子 1回戦敗退

・高校女子シングルスII部
3年 半澤 楓 3位

○令和5年度 第16回空知高等学校バドミントン選手権大会 (5月24日～26日 岩見沢市)

・女子ダブルス
3年 中野 亜子・半澤 楓 ペア
1回戦敗退

・女子シングルス
3年 中野 亜子 1回戦敗退
3年 半澤 楓 1回戦敗退



<弓道部>

○令和5年度 第51回空知地区高等学校弓道選抜大会 兼 第45回北海道高等学校弓道選抜大会北北海道大会空知支部予選会 (5月24日～26日 芦別市)

2年 木村 萌衣 8射0中



<商業部>

○令和5年度 第68回北海道高等学校ワープ口競技大会 兼 第70回全国高等学校ワープ口競技大会北海道予選 (6月14日 札幌市)

・団体 3位
3年 山本 真緒
2年 小泉 勝利 豊嶋 大樹





生徒総会



全町一斉クリーン作戦



対面式



進路ガイダンス(2学年)



交通安全講話



高体連・高文連壮行会



ネット安全教室



奈井江町講座(1・3年)



校舎内花壇整備